

自己点検評価シート3

大項目 教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務

中項目 政策:生涯学習ネットワークの整備充実
 施策:生涯学習システムの推進

小項目	実績	評点	点検評価
公民館運営費	1,469千円 公民館運営管理事業 公民館館長・主事が主体となって各地区(6地区)において生涯学習等に関する公民館事業(教室、講演会、講座等)を実施し、常に市民が利用するための場を提供した。 ・市内中央公民館6館、地区分館3館の事業運営経費 36千円 各地区事業開催延べ19事業実施、延べ参加者数2,640人 ・白根中央公民館維持管理経費 361千円 H23年度利用者数利用者 2,434人 ・公民館運営審議会委員(9人)報酬 191千円 ・館長・分館長・主事(52人)報償 730千円 豊文化教室運営管理事業 指定管理施設である豊文化教室(陶芸、軽音楽)の維持管理経費 指定管理者 檜形地区文化協会陶芸部 指定管理期間 10年間(H18~H27) 指定管理委託料 150千円 H23年度利用者数 1,186人	3.4	* 施設管理費を抑えつつ充実した公民館事業が実施されているが、今後はその告知(PR)を充実させることも必要。 * 努力は認められるが各地域の運営にバラつきも見られる。
生涯学習推進事業	3,504千円 ・生涯学習講座の開催 市民がいつでも自由に学習機会を選択し学ぶことができるように、年間を通して様々な69講座を開催した。 親子の教室:陶芸教室、ケーキ作り等 教養講座:トラベル韓国語教室、パソコン教室、野菜作り教室、整理収納講座、観望会等 趣味の講座:寄せ植え教室、料理教室、茶道教室、ラッピング教室等 映画鑑賞会:夏休み子ども映画会 各種講座延べ参加者数 1,159人(大人812人、子供347人) ・社会教育委員(20人)報酬462千円 ・社会教育関係団体活動支援(地域団体23団体)1,215千円	3.4	市民の学習ニーズに応え、内容も充実し工夫されているが、受講者数が減少傾向にある。受講者のニーズを調査し、開設講座の内容、数を検討する必要がある。

<p>八田ふれあい 図書館運営費</p>	<p>7,464 高度農業情報図書館として、専門書からガーデニングなどの一般書まで農業に関する資料を多く収集・提供している。地域の情報の拠点として、農業講座の開催や施設への団体貸出(毎月)など、市民の暮らしに役立つ図書館として運営してきた。 利用状況 貸出資料数 63,657点 (1日平均 224点) 主な事業 一般向け ・農業講座、朗読会(2回) 参加者 延べ 51名 ・福祉施設慰問おはなし会 参加者 延べ 49名 児童向け ・おはなし会(22回)、団体利用時おはなし会(2回) 参加者 延べ 569名 ・おはなし会出前サービス(保育所・児童館2回) 参加者 延べ 190名 ・春の子ども読書まつり 参加者 83名 ・工作教室(10回)、親子工作教室 参加者 延べ 276名 ・夏休み子ども教室(科学実験遊び・エコ工作・映画会・感想文おたすけ隊・子どもボランティア) 参加者 延べ126名 ・春の子ども映画会 参加者 150名 ・秋の子ども読書フェスタ(絵本ライブ) 参加者 220名 ・市立図書館クリスマス会(八白芦 合同) 参加者 230名 賃金 6,308(臨時職員・パート・アルバイト賃金) 需用費 955(雑誌・新聞費、図書館・事務消耗品 等) 役務費 84(通信運搬費・手数料) 使用料及び賃借料 117(リース料)</p>	<p>3.7</p>	
<p>白根桃源図書 館運営費</p>	<p>9,627 地域の情報拠点として、市民の要望に応えられるよう資料を収集・整理・保存をし、貸出、レファレンス、読書活動などの図書館サービスを図りながら、生涯学習を支える中核的な施設として図書館運営を行った。白根のみ独立館のため管理の費用が図書館予算に計上されている。地域の特徴から治水・福祉に関する資料や俳人福田甲子雄氏に関する資料を収集し、講座を開催した。 利用状況 貸出資料数53,717点(1日平均190点) 主な事業 一般向け事業 ・朗読会(2回)、「はじめてのパステル画」講座 延べ62名参加 児童向け事業 ・春の子ども読書まつり(児童館と合同) 75名参加 ・夏休み子ども教室(親子手づくり絵本・エコ工作教室・子どもボランティア) 延べ111名参加 ・おはなし会(35回) 延べ632名参加 ・おはなし会出前サービス(施設訪問・保育所・児童館—20回) 延べ1,041名参加 ・子ども俳句教室(2回) 延べ30名参加 ・秋の子ども読書フェスタ (「だいすきな本」の募集・工作教室) 延べ109名参加 賃金(臨時職員、パート・アルバイト) 6,873 需用費(雑誌・新聞、光熱水費、図書館用品等)1,985 役務費(通信運搬費、手数料) 255 委託料(施設警備・館内清掃・消防設備点検) 288 使用料及び賃借料 (CATV使用料、公用車・清掃用具・植物リース料) 226</p>	<p>3.5</p>	

<p>わかさ図書館 運営費</p>	<p>7,112 特色ある資料(自然保護・環境)の収集・提供や環境講座・エコ工作教室等の事業を行ってきた。また市民の暮らしに役立つ資料を提供し、地域の情報の拠点として運営してきた。 利用状況 貸出資料数 59,158点(1日平均 209点) 主な事業 一般向き ・環境講座・朗読会・読み聞かせ講座 参加者 延べ108名 児童向き ・おはなし会(春の子どもまつり・012・団体利用時等) 参加者 延べ672名 ・工作教室(環境(エコ工作2回)・七夕) 参加者 59名 ・夏休み子ども教室(安藤家おはなし会 参加者 39名 感想文おたすけ隊・子どもボランティア) ・おはなし会出前サービス(小学校・児童館) 参加者 延べ320名 ・人形劇 参加者 105名 ・子ども映画会(3回) 参加者 延べ140名 ・市立図書館クリスマス会(櫛甲わ合同) 参加者 228名 賃金 5,865(臨時職員・パート・アルバイト) 需用費 1,039(雑誌43誌・新聞6誌購入費・図書消耗品等) 役務費 46(電話料) 使用料及び賃借料 162(印刷機・清掃用具)</p>	<p>3.5</p>	
<p>櫛形図書館運 営費</p>	<p>21,520 市内図書館の中央館機能を持つ図書館として、市民の暮らしに役立つ最新情報や資料を提供している。また、市民の読書活動や学習活動を高めるために講座や講演会等の開催と子どもの発達段階に応じた読書支援を行っている。本年度は子どもの読書活動推進計画(第2次)を策定した。第1次における成果と課題を踏まえ、子どもの読書活動を家庭、地域、学校等と連携を図りながら推進していく。 ○利用者状況 貸出資料数 209,552点(1日平均 735点) ○主な事業 ・図書館講演会 参加者 206名 (講師 池田香代子氏) ・朗読入門講座(5回) 参加者 延べ 60名 ・朗読会(4回) 参加者 延べ 195名 ・図書館講座(2回) 参加者 延べ 31名 ・シニア講座(4回) 参加者 延べ 69名 ・ブックスタート(24回) 参加者 延べ 579名 ・そよかぜこどもまつり 参加者 120名 ・クリスマス会 参加者 228名 ・映画会(3回) 参加者 延べ 120名 ・工作教室(2回) 参加者 延べ 40名 ・なんでもかがく実験 参加者 14名 ・おはなし会出前サービス(6回) 参加者 延べ 166名 ・おはなし会(63回) 参加者 延べ 784名 ・芦安山岳館ミニ企画展・南極展の開催</p>	<p>3.7</p>	

	<p>○報酬 191(図書館協議会委員10名) ○賃金 9,325(臨時職員・パート・アルバイト) ○報償費 834(図書館講演会・各種講座講師謝金等) ○旅費 115(図書館講演会等講師旅費・職員県外研修3名) ○需用費 3,752(雑誌139誌・新聞16紙・ブックスタート事業等) ○役務費 1,568(電話料・資料マーク代・整備代等) ○委託料 3,616(図書館システム・マーク保守) ○使用料等 2,007(図書館コンピュータ・コピー機リース料等) ○備品購入費 69(ディスク研磨機) ○負担金等 43(日本図書館協会年会費等)</p>		
櫛形図書館芦安分館	<p>668 週2回(火・金)午後1時～5時開館 春・秋のお楽しみ会は、保育所・小学校・高齢者が交流し、芦安ならではの楽しみ会となっている。また、生きがい活動支援通所事業(毎月第2・4水曜日)で高齢者への朗読会を行ってきた。 利用者状況 貸出資料数 1,862点(1日平均 19点) 主な事業 ・工作教室 参加者 39名 ・映画会(2回) 参加者 延べ31名 ・お楽しみ会(春・秋) 参加者 延 56名 ・生きがい活動支援通所事業参加者 延べ181名 (毎月第2・4水曜日) 賃金581(パート職員賃金) 需用費87(消耗品・雑誌購入費11誌等)</p>	3.0	場所、開催時間の再考が必要と考える。
甲西図書館運営費	<p>6,549 特色ある資料(子育て支援・児童書)の収集・提供や外国語のおはなし会・絵本講座・親子科学教室などの事業を行ってきた。また、市民の暮らしに役立つ資料を提供し、地域の情報拠点として運営してきた。 利用状況 貸出資料数 54,755点(1日平均 194点) 主な事業 一般向き 参加者数 延べ 131名 ・工作教室・朗読会・絵本講座 児童向き 参加者数 延べ1,263名 ・おはなし会(春の子どもまつり・0.1.2) 参加者数 延べ 60名 ・外国語のおはなし会 参加者数 延べ 91名 ・夏休み子ども教室 (工作・詩・感想文・子どもボランティア) ・おはなし会出前サービス(保育所・児童館) ・親子科学教室 参加者数 延べ 132名 賃金 5,455(臨時職員・パート) 参加者数 37 需用費916(雑誌43誌・新聞6紙・消耗品) 役務費 36(FAX回線料等) 使用料及び賃借料 142(公用車リース等)</p>	3.5	

<p>図書館資料購入費</p>	<p>30,000 市民の学習要求の多様化・高度化に伴い、最新資料や情報を整備し、資料提供によって市民の学習意欲の喚起や読書の普及を図った。 また、地域の特性を活かしながら各館で特色ある蔵書構成を行なった。櫛形図書館は地域資料及び中央館としての総合収集・八田ふれあい図書館は農業関係資料・白根桃源図書館は治水・福祉関係・わかさ図書館は環境関係資料・甲西図書館は子育て関係資料など整備した。 「住民生活に光をそそぐ交付金」として平成23年度・24年度の2年続きで図書館資料購入費に1千万円が上乘せされた。そのうち学校図書館資料購入費250万円が人件費とともに予算計上しなければならぬという制約があるため、市立図書館の資料購入事業費に含まれている。平成23年度は、児童生徒の多い少ないにかかわらず、学校図書館に備えておきたい資料である調べ学習に必要な図書(事典・辞典・図鑑・百科等)の蔵書整備とし、22校に均等配分した。 図書購入冊数14,201冊(蔵書冊数315,060冊)視聴覚資料購入数214点(蔵書点数7,590点)市民一人当たりの資料数4.45冊、館外貸出冊数442,701冊、昨年度より6,388冊の減、市民一人当たり6.10冊の貸出冊数)貸出冊数の減は、低年齢利用者が年々減少していることやインターネットの普及などによるものと思われる。新鮮で魅力ある情報を市民に提供できるよう、各館の職員全員で資料を選定し、週1回担当者による選書会議で検討した上で、地元書店組合から購入している。市内図書館の資料が、幅広い蔵書内容になるように努めている。 図書購入冊数 八田ふれあい図書館 2,111冊(内児童書950冊) 白根桃源図書館 1,969冊(内児童書677冊) わかさ図書館 2,052冊(内児童書821冊) 櫛形図書館 5,316冊(内児童書1,060冊) 甲西図書館 2,141冊(内児童書937冊) 小中学校(22校) 612冊 視聴覚資料 八田ふれあい図書館 29点 白根桃源図書館 25点 わかさ図書館 18点 櫛形図書館 121点 甲西図書館 21点</p>	<p>3.4</p>	
-----------------	--	------------	--

中項目 政策:生涯学習ネットワークの整備充実
 施策:生涯学習システムの推進

小項目	実績	評点	点検評価
八田高度農業情報センター管理費	18,300千円 市の生涯学習を推進していくため指定管理者制度の導入を図り、公募により管理者を指定している。生涯学習施設の効率的な運用を推進し施設の維持管理に努め、常に市民が利用し生涯学習の場を提供した。 ・指定管理者 (株)ホンダショップ山梨 ・指定管理期間 3年間(H23～H25) ・指定管理委託料 18,000千円 ・駐車場用地賃借料 300千円 H23年度利用者数 69,916人	3.7	* 利用者数が突出して多い点指定管理者の努力の成果。 * 独自事業の実施に向けて努力を促したい。
若草生涯学習センター管理費	11,150千円 市の生涯学習を推進していくため指定管理者制度の導入を図り、公募により管理者を指定している。生涯学習施設の効率的な運用を推進し施設の維持管理に努め、常に市民が利用し生涯学習の場を提供した。 ・指定管理者 シャンブレイ ・指定管理期間 3年間(H23～H25) ・指定管理委託料 11,150千円 H23年度利用者数 29,944人	3.5	自主事業が充実しており、地域の方も多く参加している。
櫛形生涯学習センター管理経費	19,855千円 市の生涯学習を推進していくため指定管理者制度の導入を図り、公募により管理者を指定している。生涯学習施設の効率的な運用を推進し施設の維持管理に努め、常に市民が利用し生涯学習の場を提供した。 ・指定管理者 (財)桃源文化振興協会 ・指定管理期間 3年間(H23～H25) ・指定管理委託料 18,782千円 ・エアコン修繕5台(研修室・学習室) 226千円 ・駐車場用地借地料 847千円 H23年度利用者数 33,560人	3.5	
甲西農村環境改善センター管理費	8,500千円 市の生涯学習を推進していくため指定管理者制度の導入を図り、公募により管理者を指定している。生涯学習施設の効率的な運用を推進し施設の維持管理に努め、常に市民が利用し生涯学習の場を提供した。 ・指定管理者 (株)共立メンテナンス ・指定管理期間 3年間(H23～H25) ・指定管理委託料 8,500千円 H23年度利用者数 20,924人	3.3	
芦安高齢者コミュニティセンター管理費	278千円 市民が自主的な生涯学習等の講座(集会)を開催できるように施設の場を提供した。また施設維持管理に努め、市民がいつでもどこでも必要なときに生涯学習が行える環境を整えた。(主な利用:夜叉神太鼓保存会及び芦安中学生による太鼓の練習、社会福祉協議会によるおやつ作り) H23年度利用者数 130人	2.8	* 施設の老朽化が著しい。安全に不安がある。 * 老朽化が進み太鼓の練習だけの利用では、他の場所でもよいのではないか。
白根コミュニティ館管理費	327千円 市民が自主的な生涯学習等の講座(集会)を開催できるように施設の場を提供した。また施設維持管理に努め、市民がいつでもどこでも必要なときに生涯学習が行える環境を整えた。(主な利用:文化団体、生涯学習サークル、地域団体の会議、研修会等) H23年度利用者数 4,031人	3.3	

ふるさと天文館 管理費	826千円 毎週土曜日に大型望遠鏡を活用した観望会を開催している。また、市内小学校の施設見学、生涯学習講座((望遠鏡作り・星座観望会・ふたご座流星群を見る会)等に利用された。市民が必要なおきに利用できるように施設維持管理に努め、生涯学習が行える環境を整えた。 H23年度利用者数 781人	3.1	* 天体望遠鏡があることは素晴らしい。 有効活用すべき。 * 充実した施設であるので、更に工夫ある運営を望む。
櫛形北地区農村環境改善センター管理費	2,624千円 市の生涯学習を推進していくため指定管理者制度の導入を図り、特定指定として櫛形北地区(曲輪田、上宮地、桃園3地区)区長会を中心とした運営委員会が施設の運営管理を行っている。生涯学習施設として効率的な運用を推進し、施設の維持管理に努め、常に市民が利用しやすい生涯学習の場を提供した。 ・指定管理者 櫛形北地区農村環境改善センター運営委員会 ・指定管理期間 10年間(H18～H27) ・指定管理委託料 2,540千円 ・施設改修調査手数料 84千円 H23年度利用者数 16,708人	3.2	
櫛形西地区農村環境改善センター管理費	2,340千円 市の生涯学習を推進していくため指定管理者制度の導入を図り、特定指定として櫛形西地区(高尾、平岡、上市之瀬等7地区)区長会を中心とした運営委員会が施設の運営管理を行っている。生涯学習施設として効率的な運用を推進し、施設の維持管理に努め、常に市民が利用しやすい生涯学習の場を提供した。 ・指定管理者 櫛形西地区農村環境改善センター運営委員会 ・指定管理期間 10年間(H18～H27) ・指定管理委託料 2,140千円 ・施設用地借上料(妙了寺) 200千円 H23年度利用者数 9,776人	3.2	
南アルプス市働く婦人の家管理費	3,351千円 市の生涯学習を推進していくため指定管理者制度の導入を図り、特定指定として櫛形豊地区(上今井、吉田、十五所、沢登4地区)区長会が施設の運営管理を行っている。生涯学習施設として効率的な運用を推進し、施設の維持管理に努め、常に市民が利用しやすい生涯学習の場を提供した。 ・指定管理者 豊地区区長会 ・指定管理期間 10年間(H18～H27) ・指定管理委託料 3,351千円 H23年度利用者数 26,292人	3.2	利用者数が多いことは評価できるが、常駐する管理者の必要性があるのか検討すべきである。
生涯学習指定管理施設維持補修費	1,798千円 生涯学習指定管理施設の緊急な施設補修を行い、施設の維持管理に努めた。 ・桃源文化会館 377千円 (冷凍庫修繕) ・櫛形生涯学習センター 431千円 (舞台照明設備部品交換) ・櫛形北地区農村環境改善センター 519千円 (給湯器交換、屋根防水修繕、天井張替え、漏水修繕等) ・櫛形西地区農村環境改善センター 471千円 (消防用設備修繕、非常灯バッテリー交換)	3.2	
旧三恵小学校校舎解体事業	11,097千円 老朽化を通り越して廃墟化している旧三恵小学校の校舎を、防犯上の危機を回避するため解体工事を実施した。 ・解体工事に伴う給水管切廻等修繕 261千円 ・旧三恵小学校校舎解体工事設計監理委託料 1,260千円 ・旧三恵小学校校舎解体工事 9,576千円	3.4	今後、跡地利用の検討を。

中項目 政策:学校教育の充実
 施策:次世代を担う人づくりの推進

小項目	実績	評点	点検評価
小学校教育系P C保守業務	3,434 学習指導要領に基づいた情報教育を充実するために、全ての小学校教室で児童及び教員がインターネットを活用できる環境を整備している。そのため小中学校間で統一した整備を実施しており、維持管理についても、市内の教育用パソコン端末機器等を一括して保守管理することで、経費の軽減を図っている。 ・教育用パソコンシステム保守業務 ・教育系ネットワーク保守業務 ・教育用パソコン修繕業務	3.1	学校現場での有効活用を期待する。
中学校教育系P C保守業務	1,615 学習指導要領に基づいた情報教育を充実するために、全ての小学校教室で児童及び教員がインターネットを活用できる環境を整備している。そのため小中学校間で統一した整備を実施しており、維持管理についても、市内の教育用パソコン端末機器等を一括して保守管理することで、経費の軽減を図っている。 ・教育用パソコンシステム保守業務 ・教育系ネットワーク保守業務 ・教育用パソコン修繕業務	3.1	
単独校給食運営経費	学校給食を安心安全に提供するための事業。食文化の多様化による児童のアレルギー食の対応や、食育指導を行った。また食材の購入については複数の業者から見積りを徴し、最安値の業者と月ごとに契約を行っている。地産地消の食材についても、より多く取り入れるため、市栄養士部会で視察等を行い新規の納入業者の開拓に努めている。 180,908 (給食業務を単独で運営している学校の運営費用集計) 小笠原小 34,594 対象667名 年間127,384食 櫛形北小 14,519 対象276名 年間 52,467食 櫛形西小 7,497 対象134名 年間 26,234食 豊小 16,706 対象317名 年間 60,584食 落合小 11,110 対象206名 年間 38,719食 南湖小 15,150 対象287名 年間 55,172食 甲西大明共同調理場 41,534 対象734名 年間136,157食 櫛形中 39,798 対象716名 年間127,143食	3.3	* 地産地消の推進を図るため、給食施設と生産者との間に食材取り扱い業者を設置する必要がある。 * 子ども達のために安心安全な給食作りに対する努力はすばらしい。ただし、給食費の未納率等不明である。
給食センター運営経費	学校給食を安心安全に提供するための事業。食文化の多様化による児童のアレルギー食の対応や、食育指導を行った。また食材の購入については複数の業者から見積りを徴し、最安値の業者と月ごとに契約を行っている。地産地消の食材についても、より多く取り入れるため、市栄養士部会で視察等を行い新規の納入業者の開拓に努めている。 313,331(白根・八田給食センター及び若草学校給食センターの運営費集計) 白根・八田給食センター 212,054 対象2,886名 年間531,476食 若草学校給食センター 101,277 対象1,473名 年間288,358食	3.6	センターとしてのできる限りの子どもへの、食育等の努力もすばらしい。

中項目 政策:学校教育の充実
 施策:生きる力を育む学校教育の推進

小項目	実績(金額は千円)	評点	点検評価
教育委員会経費	1,628 ・教育委員会の円滑な運営を図り、教育行政の基本方針や施策について審議し、決議した。 ・市内小中学校22校の学校を訪問し学校長との意見交換、授業参観、給食試食、施設状況の視察を行った。 ・教育委員先進地県外視察研修(栃木県宇都宮市・日光市 小規模特認校制度と小中一貫教育特区)を行った。その他研修会各種行事へ出席をした。 ・教育振興推進のため、その使命と責務に努めた。	3.8	
一般管理事務経費	285,292 教育委員会事務局組織に必要な事項を定め、所管事務を明確にし、教育行政事務の適正と効率的な運営を行った。 主な事業は以下のとおりである。 賃金 211,969(市単臨時雇用等) 補助教員・司書・栄養士・単独校調理員・用務員 等 報償 16,795(学校医報酬・就学児健診医師報酬) 需用費 3,634(消耗品・燃料費・印刷正本費 等) 役務費 3,291(郵送料・口座振替手数料・保険料) 委託料 12,646(二次ネット計画・学校職員健診・学校環境検査) 使用料等 5,904(学校図書館システム・公用車・AED等リース) 備品購入 3,679(武道防具・電子黒板等) 負担金等 25,962(各種負担金・学校給食助成金)	3.6	学校給食助成金(3人目の子の給食費無料)については、一考の余地がある
幼稚園教育振興事業	18,811(23園 362名) ・幼稚園教育を奨励するため、私立幼稚園の設置者に対して入園料及び保育料の減免を行う場合、私立幼稚園就園奨励費を支給した。 ・保護者の経済的負担の軽減が図られた。 ・国の補助事業であるため、各自治体で実施しているが、補助率が1/3以内ということもあり自治体間で所得制限の基準も補助金額も差がある。本市は財政的な理由により所得基準も補助金も国の基準より少ない。	3.0	更に保護者の経済的負担の軽減を図る努力が必要である。
育英奨学会事業経費	11,460 小林愛則育英奨学金 600 給付額は、年間一人10万円を1学年3名を限度とし3年間給付する。 平成23年度は6名に授与し、勉学の励みになっている。 南アルプス市奨学金 10,140 向学意欲はあるが経済的理由で就学困難な者へ貸付ける(年間:高校生12万・大学生30万)。平成23年度は高校生2名、大学生33名 芦安活性化対策育英奨学金 720 芦安地区から高等学校等に通学するため、奨学金を希望する者に対して年間12万円を貸与する。平成23年度貸与者は8名。	3.2	* 通学困難地域に住む高校生への奨学金ではあるが、他地区でも同様な場所もあることから、芦安育英奨学金を南ア市奨学金に含めるべきか検討を要する。 * 小林奨学金について内部での基準の整理が必要。
就学援助事業(小学校)	28,956 (要保護児童生徒9名、準要保護児童生徒404名、特別支援教育就学奨励児童生徒29名) ・就学に困難な児童に対して、学用品費等を援助することにより義務教育の円滑化を図る。また、特別支援学級に通う児童に対して保護者の負担能力に応じ経済的負担を軽減する就学支援を行った。 ・対象児童生徒の保護者の経済的負担の軽減が図られた。	3.5	* 複雑な社会になり家族関係も複雑化している。具体的な基準作りを早急にすべき。 * 各家庭の実態を基準に合わせ支給できた。

小学校管理費	160,734 ・市内小学校15校の管理運営を行う。児童が安全に伸びやかに過ごせる学習環境の整備と充実を図ることができた。 ・市内15校の管理運営を行うことで、学習環境の整備と充実を図ることができた。(学校修繕料、管理備品の購入、光熱水費、委託料等) ・老朽化の進んでいる学校については、学習環境の整備のための管理費(修繕料)等の経費が必要になる。	3.5	老朽化が進んでいる学校については、大規模改造工事について検討する必要がある。
小学校教育振興費	80,254 ・市内小学校15校の振興運営を行う。特色ある学校教育づくり、総合的な学習充実、教育課程を実施することができた。 ・市内小学校15校の振興運営を行うことで、特色ある学校教育づくり、教育課程を実施することができた。(教材補助、各種検査料、教材備品購入、校外行事補助)	3.7	各校の特色ある教育推進に効果がある。
就学援助事業(中学校)	24,801 (要保護児童生徒11名、準要保護児童生徒241名、特別支援教育就学奨励児童生徒10名) ・就学に困難な生徒に対して、学用品費等を援助することにより義務教育の円滑化を図る。また、特別支援学級に通う児童に対して保護者の負担能力に応じ経済的負担を軽減する就学支援を行った。 ・対象児童生徒の保護者の経済的負担の軽減が図られた。	3.5	* 複雑な社会になり家族関係も複雑化している。具体的な基準作りを早急にすべき。 * 各家庭の実態を基準に合わせ支給できた。
中学校関東大会・全国大会支援事業	13,650 ・文化庁、体育部で参加する関東、全国大会に参加するための経費を補助することで、生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、体力、技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り心身ともに健康な生徒の育成ができた。 ・櫛形中学校男子駅伝部が全国大会優勝するなど輝かしい成績を挙げることができた。 (補助件数40件)	3.6	* 生徒の負担減は勿論であるが、参加する大会の内、補助する大会の基準を早急にすべき。 * 活動意欲を高める上で、効果がある。
中学校管理費	82,982 ・市内、中学校7校の管理運営を行う。生徒が安全に伸びやかに過ごせる学習環境の整備と充実を図ることができた。 ・市内中学校7校の管理運営を行うことで、学習環境の整備と充実を図ることができた(学校修繕料、管理備品購入、光熱水費、委託料等) ・老朽化の進んでいる学校については、学習環境の整備のための管理費(修繕料)等の経費が必要になる。	3.8	
中学校教育振興費	77,714 ・市内中学校7校の振興運営を行う。特色ある学校教育づくり、総合的な学習充実、教育課程を実施することができた。 ・市内中学校7校の振興運営を行うことで、特色ある学校教育づくり、教育課程を実施することができた。(教材備品、各種検査料、教材備品購入、校外行事補助等)	3.7	各校の特色ある教育推進に効果がある。
外国語指導助手配置管理事業	33,219千円 ・市内22小中学校へ8名の外国語指導講師(FLT)を配置した。ネイティブスピーカーを配置することにより、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上と、国際理解の充実を図った。 ・小学校において完全実施となった「外国語活動」の指導方法の充実を図るため、業務委託業者を活用し教職員研修を行った。 ・小中学校の授業見学や、学校現場の聞き取り調査及び担当者会議を実施し、各小中学校のFLTの配置状況やニーズを把握した。 ・学校現場の実情にあった人材の確保に努めた。	3.4	* 派遣会社のALTへの教員指導の内容には疑問が残る。国際社会化する子ども達にとっては、とても大切な事業である。 * 県内でも先進的な取り組みを行い、児童生徒がより楽しく意欲的に学んでいる。更なる充実、活用を期待している。

市指定研究事業	<p>学びの質を高める授業づくり推進事業 258千円(指定校3校) ・南アルプス教育の推進及び学校教育の充実を図るため、指定校3校(八田小・白根東小・白根御勅使中)において、南アルプス教育の方針に沿った授業づくりを推進した。 ・指定校は、習熟や暗記に傾斜した一斉授業の学習形態から、ペア学習やグループ学習を授業の中に取り入れ児童相互のコミュニケーションの機会を増やし、思考の多様性、人との関わり方を大切にした授業の研究会を年間を通して実施した。</p> <p>南アルプス自然体験推進事業 162千円(指定校2校) ・本事業の指定校(芦安小・芦安中)においては、本市の豊かな自然を活かした登山体験や自然体験活動を実施した。これらの活動は、南アルプスの自然の素晴らしさを知り、豊かな感性を育て、仲間作りの大切さを学ぶ機会であり、人間性やふるさとを愛する心をはぐくむ大切な取り組みである。 ・芦安小中学校の自然体験学習の実績が認められ、ユネスコスクールへ認定された。</p> <p>いじめ不登校未然防止推進事業 1,136千円 ・本事業には指定校7校(芦安小、櫛形北小、櫛形西小、落合小、大明小、白根巨摩中、芦安中)を指定し、児童生徒が安心して学習に取り組めるよう、いじめ・不登校の未然防止の観点から、教員が客観的に学級の状態を把握できるQ-Uテストを実施し、さらに指定校においては、Q-Uテストの分析結果を活かした研究会を行い公開授業も行っている。</p> <p>教職員研修事業 61千円 ・小学校外国語活動・中学校外国語教育講演会及び担当者打合せ会(参加者111名) ・市指定研究事業研究発表会、及び教育講演会(参加者240名)</p>	3.8	<p>* 教育委員会が研究指定することで、子ども達のために前向きに学習する方向性を学校とともに研究することができ、とても良い。 * 公開授業研究会や研究発表会を通じて成果が共有され、市内各校において授業改善が進められている。 * 教育委員会の学校現場に熟知した3名の職員との連携と熱心な指導により、各校の研究も深まり児童生徒の学習意欲も高まっている。また、いじめ不登校の未然防止についても、きめ細やかな対応をこれからも期待したい。 * Q-Uテストの実施は有効と思われるが、その分析活用の研究が必要。</p>
県指定校・委託事業	<p>「やまなし」心づくり研究指定校事業 601千円 (若草中200千円、若草小201千円、若草南小200千円) ・「ふるさとを愛し、世界に通じる人づくり」を基本理念とした「やまなしの教育振興プラン」が策定され、平成22年度から3年間、若草中学校区の3校が指定され義務教育9年間を見通した道徳教育推進事業を実施している。 ・地域と学校が連携し「あいさつ運動」、通学路を花で飾る「フラワーロード」の実施や児童・生徒を対象とした合唱やクラブ活動の場を通じた交流事業を実施した。</p>	3.8	<p>* 地域・子ども・行政が一体となり取り組むことで、よりよい方向性を作り上げた。 * 心の教育の充実に向けて更なる努力を期待する。</p>
	<p>栄養教諭を中核とした食育推進事業 536千円 ・指定校(事業実施校)小笠原小学校 (事業連携校)櫛形中学校 ・栄養教諭を中核とし、学校における食育を推進する上で課題となるテーマに沿って具体的な取り組みを行い、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を形成する実践的な活動を実施した。</p>	3.1	<p>* 児童生徒の将来の健康な体作りに有益である。 * はっきりした成果報告が無く、他校への波及も少なかった。</p>
社会科副読本「わたしたちの南アルプス」作成事業	<p>3,467千円 ・本市立小学校3・4年生の社会科学習を効果的なものにするため、本市の実態に即した副読本を作成し今後3年間使用する児童に配布した。</p>	3.8	<p>* 地域の学習に非常に有効な冊子となった。 * 現場での有効活用を期待する。</p>

<p>指導書・教師用教科書購入事業</p>	<p>小学校指導書・教師用教科書(下巻) 7,180千円 ・新学習指導要領改訂に伴い、H23より使用する教科用図書検定により決定し、指導書及び教師用教科書を購入した。 ・小学校の学級編制の見直しにより増加した学級数の指導書を追加購入した。</p> <p>中学校指導書・教師用教科書 10,445千円 ・新学習指導要領改訂に伴い、H24より使用する指導書・教師用教科書を購入した。</p>	<p>3.3</p>	<p>現場での有効活用を期待したい。</p>
<p>南アルプス市教育支援センター事業</p>	<p>8,447千円 ・学校へ登校することが困難な児童生徒が通う適応指導教室では、学校復帰を目指し、家庭と連絡を取りながら学習支援、教育相談を行った。 ・支援センターの知名度や支援を必要としている人が増大しているため入室者や相談者が大幅に増加した(入級登録者数21人(平均登所者数約10人)、相談件数978件(最大数))。 ・家庭、学校、関係機関との連携を図り、登所していた中学校3年の生徒が高校へ進学した人数は6人となっている。 ・諸問題を抱えた児童生徒や保護者に対応するため、臨床心理士を委嘱し、専門職によるアドバイスやカウンセリングを行った。(臨床心理士週2日勤務)</p>	<p>3.4</p>	<p>*市独自の支援センター設置はとても素晴らしい。これを継続するためにも、専門の指導者を派遣すべきである。 *個別の支援を必要とする児童生徒にとどまらず、保護者・学校を支援し大きな成果を上げてきている。また、多様な支援が必要となる中で、支援職員に研修の機会を設けたい。</p>
<p>地域ぐるみの学校安全体制整備事業(スクールガードリーダー・学校応援団に関すること)</p>	<p>スクールガードリーダー事業 616千円 ・学校安全管理の一層の充実を図ることを目的とし市内に4名のスクールガードリーダーを委嘱し、学校巡回指導・学校施設整備の点検・放課後における安全パトロール・通学路の安全点検・児童への安全指導を行った。 ・スクールガードリーダーと各地区の「子を守る会」等のボランティアが連携しながら、効果的な安全管理を図ることができている。(スクールガード登録者数 H23年度 158人)</p> <p>南アルプス市学校応援団事業 586千円 ・学校の教育活動へ支援を行うため、学校応援団を組織し、また市内の各中学校区において地区代表・コーディネーターを中心に活動を実施した。 ・それぞれの地区において、教育的ニーズに対応できるボランティアを募集し、ボランティア人材バンクを整備した。(ボランティア登録者数 H23年度末 398人)</p>	<p>3.6</p>	<p>*コーディネーターについては、学校独自でボランティアを頼める状況にあるが、今後必要性について検討すべきである。 *担当課職員の適正な企画運営と各コーディネーターの努力により学校応援団が地域に根付き活動が活発になっている。 *スクールガード事業・学校応援団事業などが、定着し効果を上げている。</p>

中項目 政策:学校教育の充実
 施策:学校施設の整備充実

小項目	実績	評点	コメント
小学校施設整備事業(単独)	54,977 小学校(15校)の既存する施設及び設備について、耐震補強及び改修を最優先に実施する中で、経年劣化等に伴う施設改修や設備更新を行っており、学校間の格差を是正し、学校施設の耐久性を計画的に向上することができた。 ・豊小学校土壌・地下水汚染対策業務委託 34,650 ・櫛形北小学校舎屋上防水改修工事 1,470 ・若草小学校屋内運動場屋根防水工事 2,992 ・豊小学校地下式灯油施設改修工事 3,570 ・白根百田小地下式灯油施設改修工事 1,649 (H22からの繰越明許) ・豊小学校土壌・地下水ボーリング調査 5,985	3.5	
小学校施設設備整備事業(きめ細やかな臨時交付金分)	46,358 (H22からの繰越明許) きめ細かなインフラ整備等の支援により、児童が安全に教育を受けられる環境を提供するため、小学校施設設備の整備等を行う。 ・修繕料 4,353 ・若草小屋内運動場改修工事設計監理業務委託 2,205 ・若草小給食配膳室改修工事設計監理業務委託 2,625 ・若草小屋内運動場改修工事 9,891 ・若草小給食配膳室改修工事 13,304 ・豊小学校プールろ過装置改修工事 2,741 ・八田小校舎水道設置改修工事 1,239 ・南湖小受水槽高架水槽補修工事 1,113 ・若草小校舎ベランダ塗装補修工事 1,260	3.7	
中学校施設整備事業(単独)	7,582 中学校(7校)の既存する施設及び設備について、耐震補強及び改修を最優先に実施する中で、経年劣化等に伴う施設改修や設備更新を行っており、学校間の格差を是正し、学校施設の耐久性を計画的に向上することができた。 ・修繕料 1,471 ・白根巨摩中校舎トイレ改修工事 1,228 ・若草中地下式灯油施設改修工事 1,365 ・甲西中学校屋外プール玄関スロープ改修工事 1,029	3.5	
中学校施設設備整備事業(きめ細やかな臨時交付金分)	26,744 (H22からの繰越明許) きめ細かなインフラ整備等の支援により、児童が安全に教育を受けられる環境を提供するため、中学校施設設備の整備等を行う。 ・修繕料 2,221 ・櫛形中学校武道場新築工事実施設計業務委託 11,180 ・若草中学校教室ドア改修工事 2,489 ・八田中学校インターホン改修工事 1,092 ・若草中学校トイレ改修工事 1,901 ・白根御勅使中水道管改修工事 2,793 ・白根御勅使中学校防球ネット改修工事 1,617 ・櫛形中テニスコート施設補修工事 1,071	3.7	

<p>櫛形中学校武道場新築事業</p>	<p>81,646 新学習指導要領(平成24年度)において、武道の授業が必修化されるため、老朽化(昭和51年建築)が著しく耐震対策も必要な旧櫛形武道館を学校施設として改築する。鉄骨造平屋建て 延べ床面積615㎡、太陽光発電整備20kw。</p> <p>歳入 学校施設環境整備改善交付金 22,254 主な歳出 ・工事監理業務委託(前払金) 1,930 ・旧櫛形武道館解体工事 8,563 ・以下、櫛形中学校武道場新築工事前払金 建築主体・外構 53,330 機械設備 3,750 電気設備 6,100 太陽光発電設備 7,200</p> <p>H24年度に繰越明許 3,882</p>	<p>4.0</p>	<p>武道場新築による学校体育や社会体育への貢献度の向上が期待できる。</p>
<p>単独校給食施設維持管理費</p>	<p>学校給食を安心安全に児童に提供する給食施設及び厨房備品の維持管理を行った。厨房器機の故障などはすぐに業者発注するのではなく、職員が修理を行ったり、他の給食施設から不要なものをまわすなどして対応している。 20,581(給食業務を単独で運営している学校の施設維持費用集計) 燃料費・修繕費・点検料・維持管理委託料 等 小笠原小 3,364 櫛形北小 2,073 櫛形西小 1,162 豊小 2,240 落合小 2,469 南湖小 2,499 甲西大明共同調理場 4,031 櫛形中 2,743</p>	<p>3.1</p>	<p>老朽化、未耐震化の施設が多く、安心安全な給食提供のためには施設の統合が図られるべきである。</p>
<p>給食センター施設維持管理費</p>	<p>学校給食を安心安全に児童に提供する給食施設及び厨房備品の維持管理を行った。厨房器機の故障などはすぐに業者発注するのではなく、職員が修理を行ったり、他の給食施設から不要なものをまわすなどして対応している。 55,752(白根・八田給食センター、芦安学校給食センター及び若草学校給食センターの運営費集計) 賃金・燃料費・修繕費・点検料・維持管理委託料 等 白根・八田給食センター 39,412 芦安学校給食センター 660 若草学校給食センター 15,680</p>	<p>3.3</p>	

中項目 政策:青少年の健全育成
 施策:健全育成支援体制の強化充実

小項目	実績	評点	点検評価
芦安南アルプスチロル学園運営事業	17,783千円 芦安地区の子どもたちと都市の子どもたちの交流事業として、また過疎地域の活性化のため小学校3年生から中学校2年生までの寮生8名を受け入れている事業。 ハイキングや登山体験のほか、四季折々の地域の祭りへの参加や料理体験、など毎月多くのイベントを実施。 平成23年度再配置検討委員会答申により平成25年度山村留学制度を廃止とする。 ・歳入:入園負担金、学園使用料等5,355千円 ・歳出:臨時職賃金や賄い材料費等17,783千円	3.2	* チロル学園での県外の子どもの経験はとてすばらしいものだったと考える。 * 今後の施設の活用方法の検討が必要。
青少年対策事業	19,681 青少年育成推進事業・ジュニアリーダー養成事業・各種子ども祭り開催事業・子どもクラブ親睦球技大会開催事業・成人式挙行事業・青少年健全育成推進団体補助事業・青少年育成カウンセラー設置事業等を実施し、心身ともに健やかな次代を担う青少年の健全育成を図った。 青少年育成推進会議運営事業 2,070 青少年育成推進員報償、広報「南アルプスの青少年」、青少年生活指導要項(夏冬)印刷折込、「家庭の日」啓発作品の参加賞・記念品、子ども110番看板他経費 ジュニアリーダー養成事業 600 「ハヶ岳少年自然の家」を利用した泊2日の研修経費。(8月3日～4日 児童生徒77名、8月17日～18日 児童生徒88名参加) 各種子ども祭り開催事業 1,261 甲西子ども祭り683、若草三世代ふれあい祭り108、芦安子ども夏まつり60、青少年桃っ子祭り285、櫛形三世代ふれあい祭り125 子どもクラブ親睦球技大会 318 大会審判員謝金、参加賞、用具他消耗品、役員昼食代等(男子:ソフトボール、女子:ソフトバレーボール) 成人式挙行事業 1,009 会場設営、プログラム作成、CATVモニター委託料他(H23年度は成人者への記念品を廃止した) 青少年健全育成推進団体補助事業 5,534 ・青少年育成南アルプス市民会議 180 ・6地区青少年育成地区民会議 4,505 ・市子どもクラブ指導者連絡協議会 137 ・南アルプス警察署管内少年補導員連絡協議会 299 ・南アルプス地区校外補導協議会 33 ・キッズタウン南アルプス(南アルプス青年会議所へ) 380 青少年育成カウンセラー設置事業 7,560 各地区民会議に1名設置。年額1名126万円 県子どもクラブ安全会参画事業 1,187 年会費150円・7,914名分 その他経費 142	3.4	* カウンセラー、ジュニアリーダー、球技大会については、現状を考え検討すべきである。 * ジュニアリーダー研修の成果について検証する必要がある。 * 各地区の子ども祭りについては他団体の内容や時期等も比較検討が必要だと考える。 それぞれの地域の方々はよくやっているが、同じような内容を何回しても人は集まらないのでは。六地区民会議の費用も多額な感がする。

<p>青少年対策事業 (国内交流分)</p>	<p>1,387千円 友好姉妹都市との交流を図るため、夏休みを利用し児童生徒の訪問及び受入れ事業を行った。 ・北海道津別町訪問 経費994千円 訪問期間 2泊3日 訪問人数 25人(児童20人、引率5人) ・東京都小笠原村受入れ 経費199千円 受入れ期間 3泊4日 受入れ人数 20人(生徒15人、引率5人) ・石川県穴水町受入れ 経費194千円 受入れ期間 3泊4日 受入れ人数 25人(児童20人、引率5人)</p>	<p>3.4</p>	<p>多くの子ども達が参加できるように3ヶ所について、1ヶ所だけしか行けない工夫が必要。</p>
----------------------------	---	------------	--

中項目 政策:文化づくりの推進
 施策:地域資源を活かした地域文化の振興

小項目	実績	評点	点検評価
文化振興推進事業	6,626千円 社会教育関係文化団体活動支援事業 地域の伝統芸能の継承及び保存に努め、また活動を通じて地域の文化振興の推進を図った。 ・太鼓団体(夜叉神太鼓、甲州遠光太鼓、長清太鼓) 193千円 ・小笠原長清公顕彰会 1,520千円 (礼法講座、出前講座、基礎講座、臨地研修等の開催。流鏑馬事業は東日本大震災の影響により中止) 市文化協会活動支援事業 市文化協会の自主的な活動により芸術文化及び生活文化の向上を図り、地域文化の振興等に努めた。4,913千円 ・市民文化祭事業(5地区開催) ・市内陶芸施設維持管理事業(八田、甲西) ・文化協会協力事業 ・文化講演会開催事業(講師:池田清彦氏 参加者263人) ・ふるさと再見ガイドツアー開催事業(有野地区・豊地区) ・市文化協会活動支援事業 文化協会会員 2,451人 ・市文化協会専門部活動支援事業 文化協会専門部 116部	3.5	
文化振興推進事業	国民文化祭先進地視察事業 462千円 ・平成25年に開催される国民文化祭山梨県大会に向け、事前準備を進めるため開催地である京都府「国民文化祭・京都2011」の視察を行った。また、実行委員会、事業別委員会を設立し、実施に向け会議を開催し協議を行った。 ・旅費365千円(視察5名分・実行委員会・事業別委員会等) ・需用費85千円(会議運営費・視察レンタカー燃料代・封筒印刷代) ・使用料及び賃借料12千円(駐車料・レンタカー代)	3.3	国民文化祭成功に向けて、更なる前進を期待している。
文化財保護事業	4,781千円 豊かな自然と共に貴重な文化遺産を後世に残すため、市内の指定文化財の保護を行った。また学校教育や生涯教育と連携しながら文化財の活用及び広報誌等を通じて啓発事業を実施した。 実施事業 ・国史跡 将棋頭・石積出、県指定物見塚古墳の維持管理(草刈等) ・県指定天然記念物 鏡中条ごようマツ・宝珠寺のマツの害虫防除事業補助 ・文化財防火デーの一環として、深向院(甲西地区)、長谷寺(八田地区)での防災訓練 ・指定文化財管理報償金の交付(131件) ・長谷寺本堂(国指定)防災設備点検委託補助 ・国指定文化財三恵の大ケヤキに薬剤散布及び周辺整備 ・国重要文化財「大日如来及び四波羅蜜坐像」保存修理(宝珠寺) ・市指定文化財「成妙寺のマツ」緊急対策事業(倒木防止) ・県指定文化財説明看板設置事業 新規1基 取替え6基 ・県指定文化財「法善寺鐘楼」震災対策 ・芦安文化財マップデータ作成事業 ・古文書調査 3件 ・教育普及事業実施(学校及び一般講座) 実施事業183事業(前年度177事業) 参加人数8,294人(前年度8,862人) ・普及啓発事業実施 広報南アルプス掲載10回 広報巻頭特集2回 南アルプスふるさとメール掲載11回・CATV放映3回 甲府CATV4回(ふるさと遺産八田地区) ・インターシップ受け入れ事業実施(高校生2名 大学生4名)	3.6	

埋蔵文化財調査事業	<p>16,198千円</p> <p>埋蔵文化財は、郷土がどのように歴史をたどって成り立っているかを知る重要な手がかりとなる。本市の埋蔵文化財についても同様で、重要であり発掘調査と保存に努めている。</p> <p>実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡の保全、公開、活用のため、御勅使川旧堤防用地取得(23年度は4筆551.34㎡を取得) ・埋蔵文化財調査及び照会事業:遺跡有無等の照会631件(前年度582件)、試掘確認調査実施23件(前年度35件)、工事立会実施82件(前年度87件)、本調査実施 2件(前年度3件) ・分布調査:榊形堤防、調査の結果明治末以降に修築されたものであることがわかった。調査後、現地説明会を開催した。235名の参加があった。 ・遺跡情報発信システム「文化財Mナビ」の事業を開始し、発信板を7箇所に設置した。Mナビの紹介を兼ねて「語り部と歩くふるさとの文化財-眺望の大遺跡群市之瀬大地を歩く-」を開催 参加者54名 ・体験型史跡めぐり「語り部と歩くふるさとの文化財-御勅使川ゆかりの史跡を歩く-」を開催 参加者40名 ・埋蔵文化財等広報資料作成事業 「遺跡で散歩」vol.1～3を最新の調査結果を加え改訂版を作成 	3.6	榊形堤防試掘と現地説明会は市内埋蔵文化財への関心を高める企画であった。
埋蔵文化財調査受託事業	<p>4,834千円</p> <p>埋蔵文化財の調査・記録保存事業</p> <p>実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白根1号線建設に伴う整理作業 ・前御勅使川堤防址群発掘調査整理作業 ・畑地帯総合整備事業白根中央区発掘作業 ・白根市道2号線建設に伴う発掘作業 ・甲西児童館建設に伴う整理作業 	3.0	
ふるさと文化伝承館運営事業	<p>8,712千円</p> <p>文化財調査事務所(ふるさと文化伝承館)は、発掘された出土品を保管あるいは展示し、また、発掘調査された遺跡の報告書作成及び出土品の整理を目的としている。ふるさと文化伝承館は、地域の歴史、文化遺産や資源情報等を収集保管し整理研究しその展示や体験学習などの教育普及活動の役割と文化施策の中核となる施設として活動している。</p> <p>・入館者数 4,280人(23年度は開館日が週5日)</p> <p>実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと文化伝承館の維持管理 ・文化財の公開展示(鑄物師屋遺跡出土品などの公開展示) ・体験学習(常時) ・体験学習教室:古代物づくり教室を中心に6回開催した ・伝承館で夏まつり(縄文体験を中心としたまつりの実施) ・伝承館エントラス展(企画展4回) 堤の原風景 (関連イベント:竹蛇籠をつくろう) 甲斐源氏と小笠原流礼法のこころ展 (関連イベント:小笠原流礼法講座2回) 縄文王国「YAMANASI」展 (関連イベント:縄文王国バスツアーの開催) 今甞る!南アルプス市の戦争遺跡-ロタコ展- エントラス展については伝承館に入館するとすぐ目を引く場所に展示し展示物については手作りに対応している。 	3.5	学校教育を支援する取り組み、市民の関心を高める取り組みに工夫がある。

<p>安藤家住宅管理費</p>	<p>5,417千円 国重要文化財「安藤家住宅」の施設運営維持管理事業 ・安藤家一般公開観覧者数 4,867人 実施事業 ・安藤家住宅の維持管理 ・展示企画イベント事業 安藤家住宅の雛飾り(関連イベント:安藤家住宅で箏演奏と朗読会) 安藤家住宅の端午の節句飾り 安藤家住宅で七夕飾り 安藤家住宅で昔あそびとお話会(夏休みイベント第1弾) 安藤家住宅で怪談話(夏休みイベント第2弾) 安藤家住宅で秋祭り(昼の部 夜の部) 安藤家住宅ライトアップ 安藤家住宅でミニ門松作り その他、観光協会主催のさくらんぼ狩りツアー参加者が安藤家で米粉挽き体験を、地元西南湖区では文化展や保育所園児との交流会を図り昔の遊びや茶道や折り紙などの日本の文化に触れ楽しんだ。</p>	<p>4.0</p>	<p>* 地域との連携を強化しながら運営に当たっている。 * 展示・企画・イベントが充実していて素晴らしい。これからは更に工夫された運営に期待したい。 * 年間を通しての多くのイベントの充実と地域との連携が良かった。</p>
-----------------	--	------------	--

中項目 政策:文化づくりの推進
 施策:芸術・文化施設の充実

小項目	実績	評点	点検評価
桃源文化会館管理費	<p>67,847千円 市内の芸術文化の拠点施設である桃源文化会館の施設維持管理及び事業運営の推進を図るため、指定管理者制度の特定指定を導入している。指定管理者の専門性、経験、実績を活かした独自事業の企画、実施等により、市民の充実した文化活動推進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者 (財)桃源文化振興協会 ・指定管理期間 5年間(H213~H25) ・指定管理委託料 18,844千円 ・(財)桃源文化振興協会人件費7人分補助 44,297千円 ・自動ドア修繕 273千円 ・施設用地借地料(2件) 4,433千円 <p>H23年度利用者数 97,367人</p>	3.0	<p>* 人件費の管理費に対する割合 65,3%。内容の検討をすべきである。 * 補助を行っているので費用対効果の面からの課題もある。また、企画運営の更なる見直しを期待する。 * 今後、一般法人化の中、より充実し効率的な運営が期待される。</p>
美術館運営事業	<p>23,769千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春仙美術館 17,111千円 ・白根桃源美術館 6,658千円 <p>美術館の環境を整備し、来館者が気持ちよく作品や施設(庭等含む)を観覧できるようにする。 また、収蔵作品がよい状態で保管ができるように維持管理を行う。</p>	3.5	<p>協力会の会員の方々の熱意と労を惜しまない努力には、心より感謝する。</p>
美術館常設展事業	<p>6,811千円</p> <p>春仙美術館 名取春仙の作品を中心に、同時代に活躍した作家や現代作家、山梨に縁のある作家の展示を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展覧会日数:270日間 ・入館者数 :3,602人 ・入館料 :149,350円 ・春仙美術館主催事業版画講座2日間で14名 ・夏祭り「春仙美術館夏の夕べ」:255人 ・ワークショップ 8回:83人 ・第1回南アルプス市絵画コンクール 2,252点の出品 <p>白根桃源美術館 郷土作家を中心に展示を行う、付属展示室は市民ギャラリーとして貸出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展覧会日数:278日間 ・入館者数 :2,277人 ・入館料 :105,760円 ・付属展示室貸出し日数:250日間 ・入館者数 :3,772人 	3.8	<p>* 南アルプス市絵画コンクールの開催は大変良い企画であり、継続して行きたい。 * 第一回南アルプス絵画コンクールの実施等精力的な活動を行っている。</p>
美術館企画展事業	<p>10,312千円</p> <p>多くの市民が優れた作品を鑑賞できるように企画展を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春仙美術館企画展事業「ウィリアム・ド・モーガン展」 <p>開催日数:40日間 入館者数:2,967人 入館料:355,000円 美術講演会入館者数:25人 ワークショップ:21人</p>	3.4	<p>報道機関等を活用し宣伝活動が活発に行われたが、費用に対しより多くの来館者の見込める事業が望ましい。</p>

中項目 政策:スポーツ・レクリエーションの振興
 施策:スポーツ・レクリエーションの活動の推進

小項目	実績	評点	点検評価
保健体育総務 管理事業	<p>市民スポーツ・レクリエーションの推進に中心的役割を担う(公財)南アルプス市体育協会、スポーツ推進委員及び、市民のスポーツ活動の支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の活動を支援する事業費6,014千円(ウォークラリー・スポレック交流・スポーツラリーの各大会を開催し、市民延べ660人が運動しながら交流した。高齢者健康スポーツ教室、スポレック教室を開催し、運動する機会の少ない市民が心地よい汗を流した。) ・南アルプス市体育協会事業費補助16,514千円(地区体育協会・競技専門部等支援、市民体育祭、スイミングフェスティバル、チビリンピック等を開催) ・南アルプス市体育協会運営費補助5,695千円(事務機器賃借、消耗品、各種手数料) ・南アルプス市体育協会人件費補助58,068千円(事務局長1名、職員9名の給与) ・県外スポーツ大会出場補助1,305千円(延べ13団体の市民が山梨県の代表として、県外大会で活躍した。) 	3.0	<p>* 事業費:人件費 = 17:33 不思議な感がする。 * スポーツ推進委員の努力により各種事業が市民に認知されつつある。</p>
スポーツ振興推 進事業	<p>市民の体力向上、健康増進や生きがいづくりのため、気軽にスポーツ活動に参加できる各種事業及び、本市の特色あるスポーツであるホッケー競技を推進する事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初心者スポーツ教室を開催 5,555千円(市民の体力向上や、運動を始めるためのきっかけ作りとなるよう、1期・2期、夏季、冬季の教室を開催し、延べ14種目69教室に1,152人が参加した。) ・小学生ホッケー交流大会 613千円(夏・秋2日間開催した。) ・全国スポ少ホッケー交流大会参加1,345千円(小学生男・女2チームが8/5～8富山県小矢部市に参加した。) ・ホッケー外部指導者の派遣1,229千円(白根地区小中学校に指導者を派遣し、ルール習得や技術指導を行った。) ・第9回桃源郷マラソン大会実行委員会補助金13,755千円(東日本大震災の影響で直前に中止したが、同意の得られた参加料を義捐金として、日赤に贈呈した。) 	3.3	<p>外部指導者の派遣により、市内の多くの小中学生にホッケー競技を体験させたい。</p>

中項目 政策:スポーツ・レクリエーションの振興
 施策:スポーツ・レクリエーション施設の充実

小項目	実績	評点	点検評価
体育施設維持管理事業	<p>社会体育施設及び、学校体育施設の一般開放業務を行い、市民のスポーツ・レクリエーションの振興に務めた。</p> <p>・白根B & G海洋センター「(株)フィッツスポーツクラブ」 甲西市民総合グラウンド他1「NPOトラベッソスポーツクラブ」 櫛形総合体育館他10「(公財)南アルプス市体育協会」に社会体育施設の管理業務を委託した。(白根B&G海洋センター23,000千円、甲西市民総合グラウンド他1施設2,740千円、櫛形総合体育館他10施設13,428千円)</p> <p>・八田農業者トレーニングセンター屋根雨漏り、消火栓漏水改修工事4,831千円</p> <p>・体育施設利用者駐車場用地等借地料1,809千円</p> <p>・社会体育施設等の修繕を行い安全利用に務めた。2,624千円(櫛形総合体育館バスケットゴール支柱・ダンパー、浄化槽プロアポンプ修繕等)</p>	3.4	B & Gの施設利用者数の更なる充実に期待する。
体育施設整備事業	<p>山梨県の障害者自立支援対策臨時交付金を活用し、障害者のスポーツ等への社会参加を推進するため、体育館のバリアフリー改修工事を行った。</p> <p>・櫛形総合体育館バリアフリー改修工事7,644千円(入口スロープ勾配緩和、玄関ドアを自動ドア、身障者トイレ等の改修を行った。)</p>	3.2	
きめ細かな臨時交付金	<p>きめ細かな臨時交付金を活用し、社会体育施設及び学校体育施設の夜間照明盤をタイマー方式に改修した。</p> <p>・グラウンド夜間照明盤改修工事3,288千円(事故繰越分=東日本大震災の影響によりコイン盤の製作部品の流通が滞り、メーカーからの納品が遅れることとなり、H22年度内完成が出来ず、H23.5月に完成した。若草テニスコート、八田野球場、白根飯野小、白根御勅使中、若草小グラウンドの夜間照明盤をコインタイマー方式に改修し、消し忘れや、時間内利用の徹底改善を図った。(総額5,198千円)</p>	3.2	
きめ細かな交付金	<p>きめ細かな交付金を活用し、若草グラウンド北側既存防球ネットの改修及び、グラウンド南側へ新たに防球ネットを設置し、グラウンドの一部利用制限を全面解除した。また、若草体育館敷地内道路の路肩が一部崩落し、安全対策を施した。</p> <p>・若草グラウンド防球ネット改修工事22,785千円(北側野球場H=14.5m(10m) W=103m(92m)、南側ソフトボール場 H=10~13m W=67m)</p> <p>・敷地内道路路肩改修工事859千円(桜の根や永年の雨水浸食により、一部崩落した路肩をL=31m、L型擁壁H=600により安全対策を講じた。</p>	3.4	